



## 見島小中学校卒業式・見島保育園卒園式



3月13日（火）午前9時30分から小中学校体育館で多数の来賓と保護者の方出席の下、今年は中学部の守永達哉君1名でしたが、第4回卒業証書授与式が盛大に挙行されました。

3月23日（金）午前9時30分から見島保育園で多数の来賓と保護者の方出席の下5名の卒園児（加家秀真、古賀直也、中村優海、濱崎智優、堀川裕美子）の涙涙の卒園式が挙行されました。



## 見島っ子ふれあい教室『お楽しみ会』



今年度、子どもたちは仕上げの時期を迎え、2月28日(水)午後3時から見島っ子ふれあい教室お楽しみ会を教育サポーターの皆さんにご協力頂きました。お遊びは、子ども達と一緒に〇×クイズに昔遊びの「花いちもんめ」をしました。短時間でしたが楽しい時間を過ごす事ができました。お遊びの後、天賀館長さんより見島っ子ふれあい教室学び教室と卓球教室のそれぞれ



一年間頑張って出席できた児童に賞状が渡されました。午後4時から教育サポーターの皆さんが準備して下さったお好み焼きにわかめスープ、デザートにプリン。さつま芋チップに揚げ餅を天賀館長さんと教育サポーターの皆さんと一緒に会食しました。お好み焼きが大きくて子ども達はお腹いっぱいの様子でした。それでも、お好み焼きをお代わりする子がいてびっくり!!終了後、館長さんから袋いっぱいお菓子を頂き子ども達は大喜び。サポーターの皆さん、館長さんありがとうございました。



## 見島小中学校「げんき給食会」



3月6日、ふれあい交流センターの調理室10時半から保護者9名で萩の朝ごはんメニューコンテスト受賞レシピより、「朝すっきりメニュー(豆乳の汁物)」と「しらす丼焼いちやいました。～ピザ風～」を作り、会議室で見島保育園の青組さん、地域の方、見島小中学校児童生徒、先生方総勢45名で試食をしました。その後、岡先生による、歯のブラッシングの仕方や身近な飲み物にどの位の砂糖が入っているかなどのお話がありました。中でも一番印象に残ったのは、コーラ500mlに砂糖4.5gのスティック19本ということです。成人1日あたりの砂糖摂取量25gですので、少し気にしてみようかと思えます。今回作ったレシピは、中学生が考えたメニューで、栄養のバランスや作り易さを考慮したことに感心させられました。

## 無事避難できたよ!!

3月7日(水)午後3時15分から今年度、2回目の避難訓練が行なわれました。火元は調理室が火災という想定で山根見島分団長さんと支所の職員さんにご協力頂きました。この日、学び教室で公民館に来られていた子ども達は、館内放送が入ると、焦らず、落ち着いて屋外に避難する事ができました。分団長さんより「火災を起こさないように気をつけ、自分の身は自分で守る。人も大事だけれど、まずは自分で逃げるという事を重視して欲しい。」とおっしゃっておられました。訓練お疲れさまでした。



## 婦人学級 手芸教室開催



3月10日(土)午後7時から和紙を使いペーパーフラワー教室を行ないました。折り紙の形式で和紙を折り、型紙にあわせ切ると可愛い花びらとなります。椿の花とマーガレットの2種類を作りました。木製の額に和紙の花びらを重ね、花粉のガクと葉っぱをつけると素敵なフラワー壁飾りが出来あがりしました。折り方がなかなか覚えられず2、3回やるうちにやっと覚える事ができました。結構、折り紙を折るのって難しいですね。皆さん、「頭の体操になったね。」とおっしゃっていました。



## 見島の歴史（138）

### 教育（続）

又、先輩生徒の分をゆずり受けたが、勉強していない人の分は、きれいであったが、いろいろと先生の言を書き止めた人もいて、ずい分と汚れたものもあった。鉛筆や消しゴムも少なく、鉛筆が短くなると、竹に差しこんで使える限り短くなっても使った。その短さを競争したものである。消しゴムは、磯に行つて、「甲イカ」の甲を拾い使ったが、ノートの紙質は悪く、1寸強くこすると、紙が破れた。イカの甲で字が消える筈はないのであるけれども、それしか代用として使えるものは、なかったのである。

終戦前、当時は食糧難で、物資も様々の面でなく「欲しがりません勝つまでは」とか「月月火水木金金」という言葉が宣伝されて、国民の全てが耐乏の生活であった。昭和20年（1945）8月15日、戦いは終りを告げたが、耐乏の生活は続いた。国民学校で、教員不足が著しく代用教員、助教員の採用、赴任が多かった。又、終戦前後は衛生状態が非常に悪く、特に衣服など汚れたままで何日も着ていたり、シラミ・ノミの発生が多く、女生徒の頭髪にシラミが蔓延して、DDT（強力な殺虫剤。現在は使われていない）が撒布されて、真っ白な頭髪の女生徒が毎日多くみられた。

昭和22年（1947）に教育基本法、学校教育法などの公布があり学制改革が実施されて、6（小学校）3（中学校）3（高等学校）の制度となり、中学校教育までが義務化された。見島国民学校は、見島小学校と改称され、国民学校高等科、青年学校は廃止となった。新しい教育法の実施まで義務教育は6年間であり、6年生で卒業し高等科への進学は自由であり、又、進学しても高等科1年で修了することも可能であった。新制の中学校へ移行する際、当時小学校6年生は義務として中学校1年生として進学したが、高等科に在籍する生徒の大多数は進学せずに学校を去り、自家の職業に従事したり、本土に職を求めて島を離れて行った。中学校への進学状況をみると、1期生（高等科を卒業して中学3年に進学する者）は、小学校卒業時64名。その内、高等科へ進学した者34名。その内、中学校3年生に進学した者20名（男16名、女4名）。2期生（高等科1年より中学2年に進学する者）は、小学校卒業時84名。その内、高等科へ進学した者54名。その内、中学校へ進学した者18名（男14名、女4名）であり、中学校への進学は極僅かであった。

教師は、それまで軍国主義一辺倒の教育から、180度転換した。民主主義、自由主義の教育となり、多くの途惑い、苦労の連続であり、新任との間で意思の衝突もみられた。

文責 見島をしっちゃんかい

（内容に疑義がありましたら、公民館内見島をしっちゃんかいまでお問い合わせ下さい）

# わたしの作品紹介

俳句

☆トレーナー 陽の香りする 北國 浩子  
日永かな

☆花冷の 夜星吸う息も 花冷

☆春眠や あかつきに眼が さめる齡

短歌

☆春の日の 列れ惜みて 人の群れ 厚母 裕子  
感謝の心 鳥去る人へ

☆花器に立つ 黄のフリージア その姿  
やさしくありて 人を酔すや

☆春の午後 幼馴染みの 思い出を  
桜の下に 探す人あり



ごみ収集日

燃やせるごみ (毎週 月・木曜日)

燃やせないごみ等の収集日 (祝日も回収いたします)

第1水曜日	4月 4日 (水)	プラスチック製容器包装
第2水曜日	4月 11日 (水)	資源ごみ(缶、ビン、ペットボトル)
第3水曜日	4月 18日 (水)	燃やせないごみ
第4水曜日	4月 25日 (水)	資源ごみ(缶、ビン、ペットボトル)



## ～巡回図書のお知らせ～ (次回は5月10日以降です)

- ・アースクエイク・パード
- ・異常気象売ります
- ・いますぐ使える! 結び方・しばり方
- ・NHK「あさイチ」スーパー主婦の直伝スゴ技!
- ・「おなかが弱い!」が治る本
- ・ありふれた祈り
- ・真珠の耳飾りの少女
- ・五月の独房にて
- ・「時間がない」を捨てなさい
- ・噂の女
- ・サイコパス
- ・五日間のパリ
- ・七度狐
- etc...



## あぶらんど萩農業協同組合見島事業所開所式

3月12日(月) 午前11時より阿部見島事業所長はじめ本所より田村参事、久原次長、職員参加の下、多田理事による事業所看板が除幕され、見島事業所の開所式が行われました。



## これからの行事予定

- 4月 3日(火) 2区3区花見の会
- 13日(金) 狂犬病予防注射
- 15日(日) 団体連絡協議会
- 17日(火) ふるさとまつり実行委員会
- 18日(水) ダム放流会議
- 21日(土) 萩市議会議員選挙投票日

(期日前投票: 16日~19日 8時半~17時・20日 8時半~正午)

このほか、三味線、大正琴を毎週実施します。